

第409回市（入札日 2017年10月13日）

— 出品量は少ないながら、メジロカバやタモを中心に高い買い意欲 —

出品量は619.8m³で、台風被害のため著しく少なかった前年同月（614.4m³）と同水準にとどまりました。しかし、メジロカバやタモを中心に買い意欲は高く、平均落札単価は43,174円/m³、元落ち率も2.8%と、この時期としては上々といえるべきでした。なお、高値上位3種は、マカバ、セン、タモと樹種が分かれ、1番と2番は官材、3番は民材でした。

次回（第410回）は11月17日（金）、目標数量は1,500m³とのことです。

○出品数量

官材・単 種	145.0m ³	322種	493本
官材・ロット	68.3m ³	17種	472本
民材・単 種	401.1m ³	521種	1,279本
民材・ロット	5.4m ³	1種	41本
計	619.8m ³	861種	2,285本

（樹種別）

タモ112.9m³・349本、マカバ6.1m³・10本、セン40.7m³・124本、ナラ157.2m³・599本、ニレ17.8m³・37本、キハダ3.5m³・13本、クルミ5.3m³・17本、アサダ2.6m³・10本、ホホ5.1m³・26本、エンジュ6.9m³・106本、カツラ14.0m³・43本、ザツカバ17.6m³・63本、シュリ3.0m³・16本、イタヤ30.7m³・118本、サクラ8.5m³・39本、シナ5.5m³・19本、メジロカバ113.6m³・560本、ウォールナット41.2m³・25本、アオダモ0.0m³・0本、その他23.6m³・52本（広葉樹計615.8m³・2,226本）、イチイ4.0m³・59本、アカエゾマツ-m³・-本、クロエゾマツ-m³・-本、カラマツ-m³・-本（針葉樹計4.0m³・59本）

○販売数量 602.7m³（元落ち率2.8%）

○販売金額 2,602万円（1m³あたり平均43,174円（前回33,826円））

○主要樹種の平均単価（1m³あたり、カッコ内は前回）

タモ	41,833円（29,582円）	キハダ	23,445円（23,349円）
マカバ	132,585円（37,610円）	カツラ	27,536円（24,742円）
セン	22,824円（24,924円）	ザツカバ	17,978円（20,737円）
ナラ	37,873円（40,190円）	メジロカバ	33,474円（14,425円）
ニレ	42,284円（12,627円）		

○高値（1m³あたり、外材のみの樹種・イチイ・エンジュは除く。）

- ①257,000円（マカバ 5.4m、40cm、1本、0.864m³）
- ②185,900円（セン 7.0m、40cm、1本、1.206m³）
- ③173,200円（タモ 6.0m、56cm、1本、1.949m³）

2017年11月6日作成（嶋瀬）